

たかはま未来カフェ開催結果報告

7月23日、かわら美術館にて、現在策定中の第6次高浜市総合計画（後期基本計画）に関して、市民のご意見をお聴きするために開催しました。

「たかはま未来カフェ」では、コーディネーターに、7年前第6次高浜市総合計画（前期基本計画）策定時に開催した「タカハマ・カフェ」のコーディネーターを務めた伊藤雅春先生をお招きし、総合計画を実現していくための課題に対し、自由な発言をしながら、ほかの意見にも耳を傾ける機会を増やす手法であるワールドカフェ方式により、参加者からさまざまな意見や課題解決のための提案をいただくことができました。

これらの意見や提案については、現在進行中の第6次高浜市総合計画（後期基本計画）の策定にいかしていきます。



▲総合計画に掲げる11目標ごとにテーブルに分かれて意見交換



▲提案発表のようす

11のテーマに対する

参加者からの主な提案の内容

- 1) 自治推進
若い世代が企画する場が必要
- 2) 財政運営
総合計画に市民に大きな影響を与える公共施設の統廃合の施設名と時期を明記する
- 3) 生涯学習
かわら美術館を活用しよう！
- 4) 学校教育
地域のゆとりある高齢者の活用
- 5) 子育て・子育て
宅老所に子どもからお年寄りまで利用できる場所をつくる
- 6) 産業・観光
「高浜市みんなで三州瓦をひろめよう条例」の推進
- 7) 環境
ごみ袋の改善（カラス対策）
- 8) 都市基盤
税収に頼らず、ネーミングライツなど、企業からの支援を検討する
- 9) 防犯・防災
備蓄品などの試食会
- 10) 地域福祉
「ワンワン“認知症”サポーター」を養成
- 11) 健康
定年後の地域デビューのコーディネート

参加者の声

※参加者アンケートより抜粋

初めは不安でしたが、今回はこの少ない人数だったから市の職員の方ともお話できて満足しています。参加してみても意義のあるものだと思えました。自分たちの住んでいる街なのですから…。

ワールドカフェの手法はよかったですと思います。グループリーダーから直接話をきくことができたのは、とてもよい学びになりました。もっと市民がいたらよかったです。

長いと思っていましたが、終わってしまえばあっという間で、これくらいの時間がないとなかなか言いたいことは伝わらないかもしれませんね。

定期的に行って、たくさんの人に関心を持ってもらうとよい。

無作為抽出にプラスして、自主的に参加したい人も募集する。



今回のたかはま未来カフェでは、参加者を従来のような広報や回覧による一般公募とはせず、16歳以上の市民のなかから4,000人を無作為に選定し、案内チラシを送らせていただきました。また、市内の全中学生にも学校を通じてチラシを配布し、そのなかから参加を希望した方を対象に開催しました。

案内チラシを直接郵送することで、一般公募では普段なかなか参加を表明できないという方にも、ぜひまちづくりに関わっていただきたい、まちづくりに関わる方の裾野を広げていきたいという思いから、今回は無作為抽出による参加者の募集とさせていただきます。

今後、第6次高浜市総合計画（後期基本計画）に関しては、より多くの方のご意見をお聴きするために、素案発表会やパブリックコメントなどを実施していく予定です。